

ワインディング - 学生の部 -

応募締切: 2017年8月22日(火)

- エントリー費: ¥ 1,080(税込)
- 参加資格: 理美容専門学校在籍生
- 表彰:
 - グランプリ ¥ 30,000 + 練習用カットウィッグ5台
 - 準グランプリ ¥ 20,000 + 練習用カットウィッグ3台
 - 第三位 ¥ 10,000 + 練習用カットウィッグ1台
- 競技タイム: 20分間(ブロッキング任意)
- 競技規定: 美容師実技試験 美容技術審査マニュアル(平成26年12月改訂版)に準ずる

ウィッグ	美容師実技試験実技課題において使用するウィッグ ※課題に適したものを各自で選択
使用ロッド	自由
ロッド本数	50本以上 55本以内 表面や長さで特殊加工がされていないもの 太さが10mmから13mm(もしくは13.5mm)までの異なるロッドを4種類使用
ペーパー	白色又は淡色のもの
輪ゴム	自由
ブロッキング	任意 ※20分の競技時間内で行って下さい。
ワインディング	デザイン巻き

- 審査ポイント:
 - ・20分以内に規定本数(50本以上 55本以内)が巻かれていること
 - ・各セクションのロッドのつながりと配列
 - ・ステムの角度と方向性
 - ・シェープの状態
 - ・輪ゴムの掛け方
 - ・残り毛の有無
- 禁止事項:
 - ・競技中に音のでるタイマー等の使用
 - ・競技中にウィッグの毛髪を抜く行為、切る行為
 - ・ウィッグへの薬剤処理(パーマ、カラー、マニキュア、酸性カラー、シリコン類など)
 - ・コーム、ウィッグへのブロッキングのためのマーキング(頭皮へのマーク付けや印に当たるもの)及び加工
 - ・水スプレー以外の使用及びトリートメント類の混入

ワインディング - サロンの部 -

応募締切: 2017年8月22日(火)

- エントリー費: ¥ 3,240(税込)
- 参加資格: HIKOTAとお取引のある全サロンスタッフ ※経験年数による出場制限は本年より廃止いたします。
- 表彰:
 - グランプリ ¥ 30,000 + 練習用カットウィッグ10台 + ルベル ワインディングコンテスト全国大会(東京)への出場権
 - 準グランプリ ¥ 20,000 + 練習用カットウィッグ5台 + ロレアル パーマトロフィ セカンドステージ(東京)への出場権
 - 第三位 ¥ 10,000 + 練習用カットウィッグ3台
- 競技タイム: 25分間(ブロッキング任意)
- 競技規定:

ウィッグ	自由(指定ロッド本数60本が収まるサイズのもの) ※推奨ウィッグ: レジーナ906DE2
毛髪の長さ	20cm以内
スタイル	オールパーパス ※ロッド配列図参照
指定ロッド	ニューエバーロッドY型またはF型のいずれか1種類 ※ロッドの加工不可
ロッドの選定・配列	合計60本 右記参照
使用ペーパー	自由 ※ペーパーへの着色やカットは不可
輪ゴム	自由 ※一色のみ
ロッドケース	使用可 ※既成品に限る
ペーパー取り出し器	使用可 ※身体に装着するもの(ハンディタイプ)は使用不可
ウィッグ取り付け金具	机固定式クランプのみ(自立式スタンド及びクランプへの加工不可) ※競技中はクランプを直立にご使用ください。 【倒さない、傾けないこと。ただし、上下(高さ)調整、向き(左右)の調整は自由】
輪ゴムのとめ方	輪ゴムをとめる際(巻き込み時)頭皮に対して平行であること ※写真・図参照

- 審査基準: 【ワインディング】構成力、ロッド配列、輪ゴムの掛け方、1本1本の美しさ

- 禁止事項:
 - ・競技中に音のでるタイマー等の使用
 - ・競技中にクランプを倒す、傾けるなどの行為 ※写真参照
 - ・競技中にウィッグの毛髪を抜く行為、切る行為
 - ・ウィッグへの薬剤処理(パーマ、カラー、マニキュア、酸性カラー、シリコン類など)
 - ・コーム、ウィッグへのブロッキングのためのマーキング(頭皮へのマーク付けや印に当たるもの)及び加工

使用ロッド本数 ※ニューエバーF型		
センター	バックサイド	サイド
F-13 (オレンジグレー) 13本	F-13S (オレンジグレー) 1本	F-13 (オレンジグレー) 3本
F-12 (ピンクグレー) 3本	F-13 (オレンジグレー) 2本	F-12 (ピンクグレー) 3本
F-11 (イエローグレー) 3本	F-12 (ピンクグレー) 3本	F-11 (イエローグレー) 1本
F-10S (ブルー) 3本	F-11 (イエローグレー) 2本	
	F-11S (イエローグレー) 1本	
	F-10S (ブルー) 3本	
合計22本		×2(両サイド) 合計14本

髪の毛の長さ

ロッド配列図

(参考)ブロッキング(10ブロック)

輪ゴムのとめ方

OK NG

審査基準

・巻き込んで、輪ゴムをとめる時、頭皮に対し平行から22.5度
・手を離した段階では45度未満までに留まるようにする

・巻き込んで、輪ゴムをとめる時、頭皮に対し45度以上の角度にならないようにする
・手を離した段階では45度以上になっている場合はNG
※ロッドの両サイドにクレパスが生じないように注意。
※根元に負荷(引っ張り過ぎ)が掛からないようにする。

NG

(巻き込んだ状態) ※横から見た輪ゴムの角度

(手を離した状態) ※立ち上がりで浮いた時の角度

2016 グランプリ

橋本 夏美
(専門学校富山ビューティーカレッジ)



2016 グランプリ

山下 大樹
(HANABUSA藤江店)

